

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日:2017年6月17日(土)

会場:AGF鈴鹿体育館

コート:A1

開始時間:11:00~

Team A		Team B
藤枝明誠 (静岡)	66	92 桜丘 (愛知)
	17 - 25	
	12 - 23	
	18 - 21	
	19 - 23	
	OT	

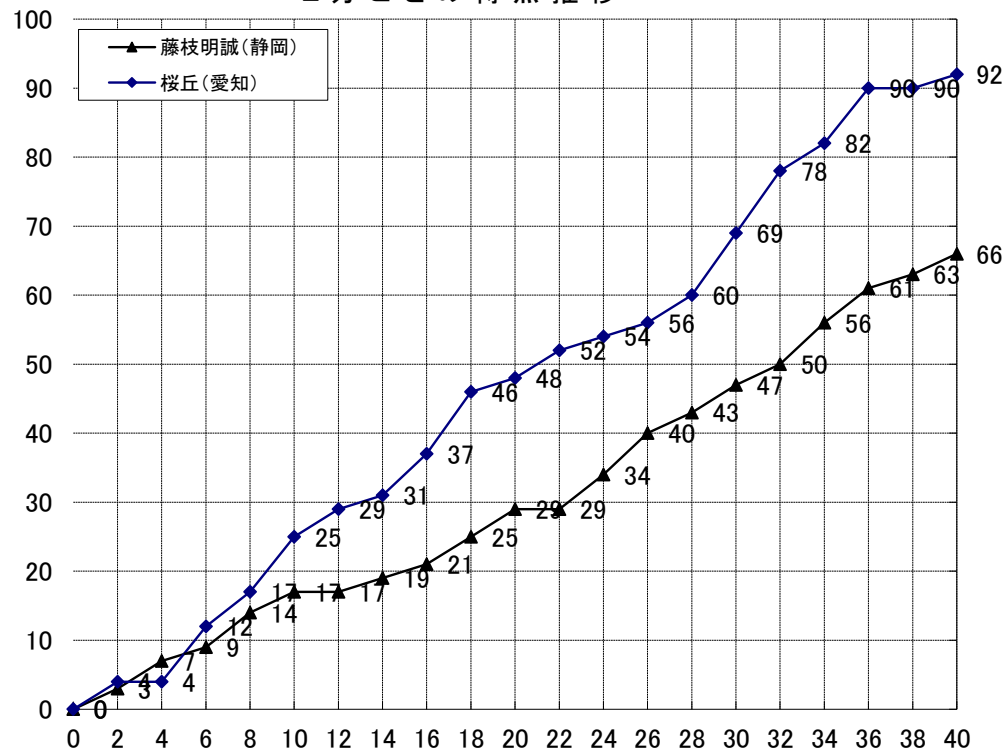
Team A: 藤枝明誠(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	高木 卓也	13	2	2	3	2								
5		豊田 裕大	0				4								
6		大塚 智樹	0				2								
7		中尾涼太郎													
8	*	張 新鋒	6		3		3								
9	*	中坪 崇斗	13		6	1	1								
10		浜本 健													
11		菊地 広人	2		1										
12		原田 祐希													
13		角野 俊吾	2		1										
14		丹藤 和輝													
15		オマルティヤン チュヌ	0				3								
16	*	浅見 晴	21	5	2	2	2								
17		野口 嶺													
18	*	中村 和磨	9	3			1								
Team/Coach:															
合計			66	10	15	6	18	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿													
5		彦坂 海登	4		2	2	3								
6	*	今田 涼斗	6		6		1								
7	*	大井 崇幹	23		22	1									
8	*	中泉 智貴	8		8		2								
9	*	富永 啓生	24	3	16	5	3								
10	*	ジャイニヤ クル	21		14	7	1								
11		原田 昇明													
12		ラボラス ベンツロバス	2		2		1								
13		小山 時郎													
14		宮田 大也	0				1								
15		木村 貴郎													
16		中澤 寛哉													
17		原田 宗輝	2		2		1								
18		山本 星矢	2		2										
Team/Coach:															
合計			92	3	74	15	13	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



## 【戦評】

1Q 藤枝明誠はマンツーマン、桜丘はゾーンでスタート。藤枝明誠はパスでゾーンを崩し、内外パランス良く攻めていく。一方桜丘は、#9の速攻、#10のゴール下を中心に攻めていく。開始6分、藤枝明誠はタイムアウトを取り、流れをつかもうとするも、桜丘がパスカットから速攻を決め 25-17でリードし1Q終了。

2Q 藤枝明誠は、ドライブ・3Pでゾーンを攻略しようと試みるもミスが多くなかなか得点をする事ができない。桜丘は合わせから着実に得点を重ねていく。桜丘はメンバーチェンジやタイムアウトを混じえて点差を開け、48-29 桜丘リードで前半を終える。

3Q 藤枝明誠は#4の3P、#16の連続3Pで点差を縮めていく。徐々に流れをつかみ出し、速攻も出るようになってくる。しかし、桜丘も#7のブザービートや#9のシュートで対抗する。両チーム点数の入れ合いになるものの、桜丘がリードを開け、69-47で3Q終了。

4Q 桜丘は速攻や合わせからのミドルシュートで一気に点差を開けていく。一方、藤枝明誠は速攻や3Pで得点を上げ、なんとか追い上げようとする。ディフェンスもオールコートマンツーマンに変え、粘りをみせるものの、桜丘は落ち着いてゲームを進め、92-66で勝利した。

主審 角平 和優

副審 井出 啓太

記入者 山崎 教平

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日:2017年6月17日(土)  
会場:AGF鈴鹿体育館  
コート:B1  
開始時間:11:00~

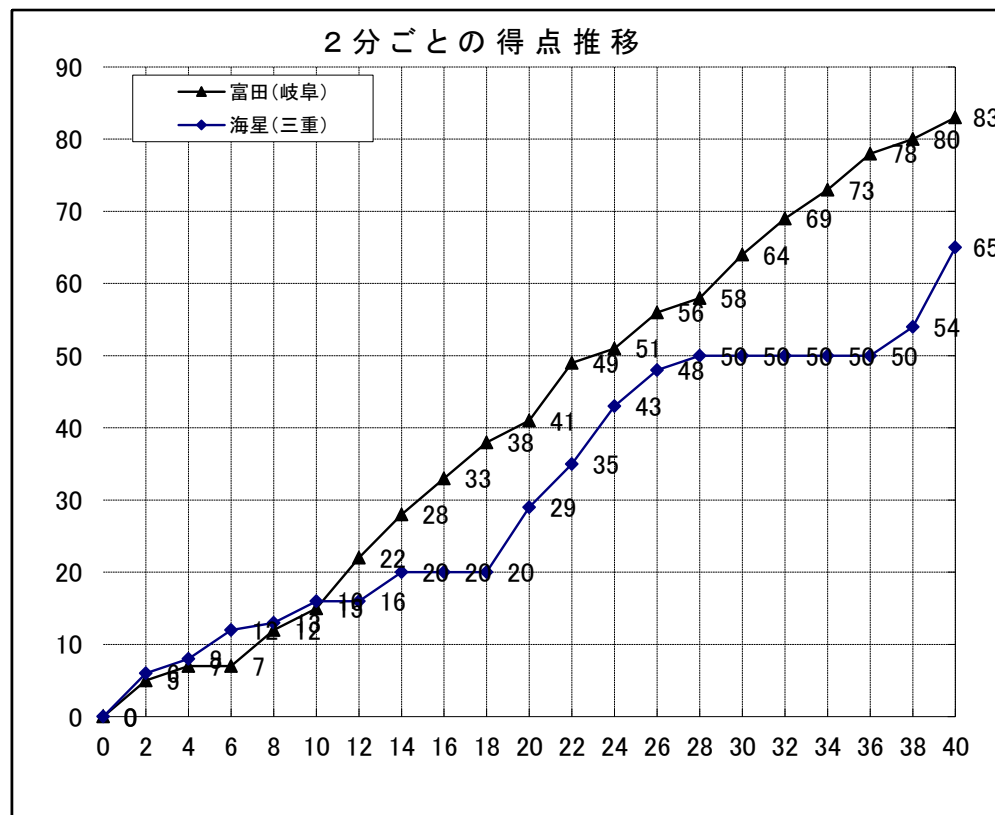
Team A		Team B
富田 (岐阜)	<b>83</b>	海星 (三重) <b>65</b>
	15 - 16 26 - 13 23 - 21 19 - 15 OT	

Team A: 富田(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	本田 覚士	8		6	2	3								
5		小平 飛翔	5	3	2		4								
6	*	島津 龍義	2		2		1								
7	*	市田 蓮	15	9	6										
8	*	中山航之介	22	3	18	1	2								
9		坪井 稜斗	16	12	2	2	1								
10		中澤 聡志	0				1								
11		香村 嘉人	0												
12		高橋 亮威	3		2	1									
13		高橋 孝成	0												
14	*	浦野 康平	10		10		2								
15		倉橋 飛翔	0				1								
16		本田 航琉	2			2	2								
17		服部 柊太	0												
18		森本倫太郎	0												
Team/Coach:															
合計			83	27	48	8	17	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 海星(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	清水 大輝	25	15	10		2								
5	*	三鬼 啓人	6		4	2	4								
6	*	堂本 玄	8	6		2									
7	*	山出 俊介	2		2		5								
8		菅井 海斗	0												
9		川添 颯太	0												
10		高木 義彦	0				1								
11	*	菅野 郁己	13		12	1	1								
12		高柳 勝也	1			1									
13		岡 勇輝	4	3		1	1								
14		奥山 祐太	0				1								
15		横井 佑清	0												
16		川合 雄星	0												
17		稲垣 怜	0												
18		鈴木斗季也	6	6			1								
Team/Coach:															
合計			65	30	28	7	16	0	0	0	0	0	0	0	0



## 【戦評】

1Q 富田はオールコートの2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンのDFで海星にプレッシャーをかけるが、海星の巧みなパス回しによりゴール下の得点を許しリードされる。6分過ぎ、富田はインサイドを中心に守り海星のリズムを崩す。15-16とほぼ互角の戦いとなる。

2Q 海星がパスミスを繰り返し富田#8のスティールや#9の連続3Pで得点を重ねリードを広げる。海星も終了間際に速攻で反撃するが、41-29と富田リードで前半を終了する。

3Q 海星#4が3本連続で3Pを決め一気に差をつめる。なおも海星は#7のパスカットからのシュートを決め、富田はたまたまにタイムアウトをとる。落ち着きを取り戻した富田、勢いに乗る海星と互角の戦いとなる。

4Q 富田がオフェンスリバウンドを支配。ゴール下で着実に得点を重ねる。海星も外角のシュートを試みるが決まらず、点差を縮めることができない。逆に富田は速攻を決め、徐々に差が広がっていく。結局83-65で富田が勝利を飾った。

主審 青木 俊博

副審 内山 孝介

記入者 宮原 利享

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日:2017年6月17日(土)  
会場:AGF鈴鹿体育館  
コート:A2  
開始時間:12:40~

Team A		Team B															
安城学園 (愛知)	<b>66</b>	浜松学院 (静岡)															
	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>11</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	21	-	12	19	-	26	11	-	14	15	-	11		OT		
21	-	12															
19	-	26															
11	-	14															
15	-	11															
	OT																

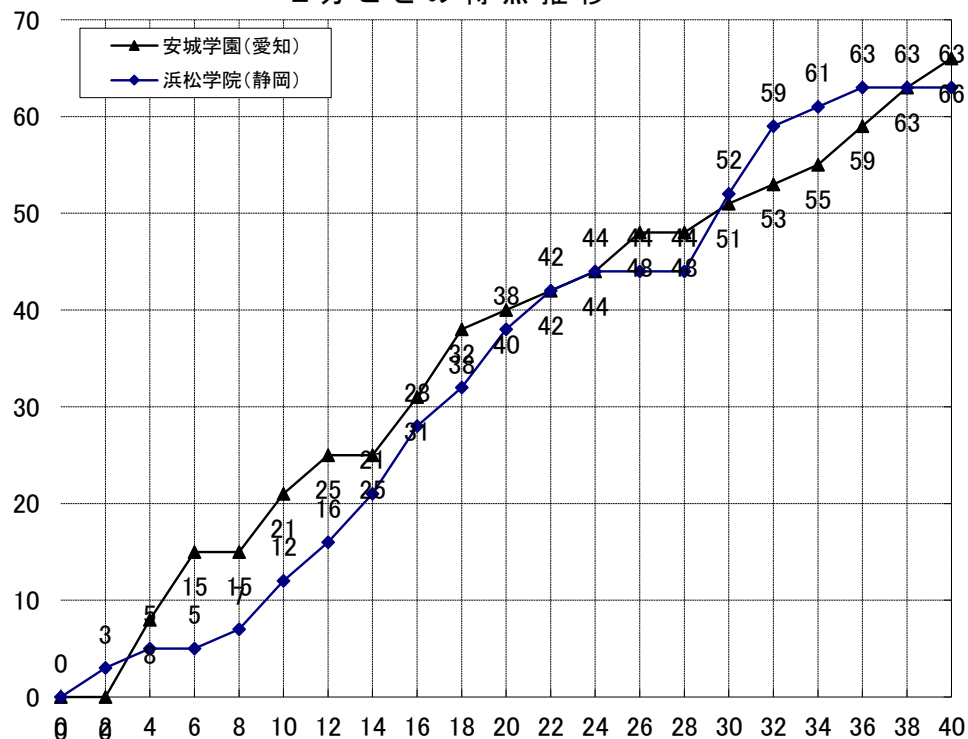
Team A: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人	1			1	1								
5		菅野 正和	10		6	4									
6*		温井 武	11	3	8		1								
7*		黒田 亘	14		12	2	4								
8*		石川 翔紀	13	3	8	2	3								
9		杉浦 史紘	9	3	6		2								
10		牛丸 和樹													
11*		新本 空良	4		2	2	4								
12*		藤田 稜	4		4										
13		角谷 亜門													
14		大見 駿													
15		楠本 泰聖													
16		黒川 周人													
17		山中 亮佑													
18		岩田 幸来													
Team/Coach:															
合計			66	9	46	11	15	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 浜松学院(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		岡村 泰知	12		10	2	1								
5		ダシルバ ヒサシ													
6*		新村 健心	4		4		2								
7*		谷口 夏樹													
8*		石川 晴道	25	9	10	6	1								
9*		亀山 憧弥					3								
10*		小池 玲史	8		8		3								
11		鈴木 涼輝	2		2		1								
12		足立 悠太													
13		葉山 大誠	7	3	4										
14		河合 優作													
15		長坂 元暉													
16		伊藤 凧都	5		4	1	4								
17		中村 健生													
18		辺田 涼介													
Team/Coach:															
合計			63	12	42	9	15	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



## 【戦評】

1Q 安城学園は、#6#7#8#11#12に対する浜松学院は、#6#7#8#9#10で開始する。両チーム共にハーフコートのマンツーマン。浜松学院#8の3Pで先制する。しかし、安城学園は#7を起点とし、ジャンパーを決めて行く。浜松学院は堅さが見られ得点が伸びず、21-12で安城学園リードで1Q終了する。

2Q 両チーム共に激しいディフェンスを展開していく中で、浜松学院#8の3Pやバスケットカウントにより点差を一気に同点となるが、安城学園#4のアシストにより逆点を許す、両者譲らず40-38安城学園リードで前半を折り返す。

3Q 浜松学院は、ドライブから#10がゴール下に合わせて得点していくが、安城学園もセンターにボールを入れ、高さを生かして攻めていくが、浜松学院の#8のバスケットカウントによって逆点し、51-52で浜松学院リードで最終Qに入る。

4Q 開始早々、浜松学院も#6のドライブなどで決め返し、一進一退の攻防を展開し、残り21秒同点で安城学園ボールでタイムアウトを取る。セットプレーから#6の3Pでプザービーターを沈め、安城学園の勝利となった。

主審 坂井 元直

副審 片野 真

記入者 芝野 博考

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日:2017年6月17日(土)  
会場:AGF鈴鹿体育館  
コート:B2  
開始時間:11:00~

Team A		Team B
県立津工業 (三重)	77	91
		高山西 (岐阜)
	17 - 25	
	26 - 18	
	12 - 27	
	22 - 21	
	OT	

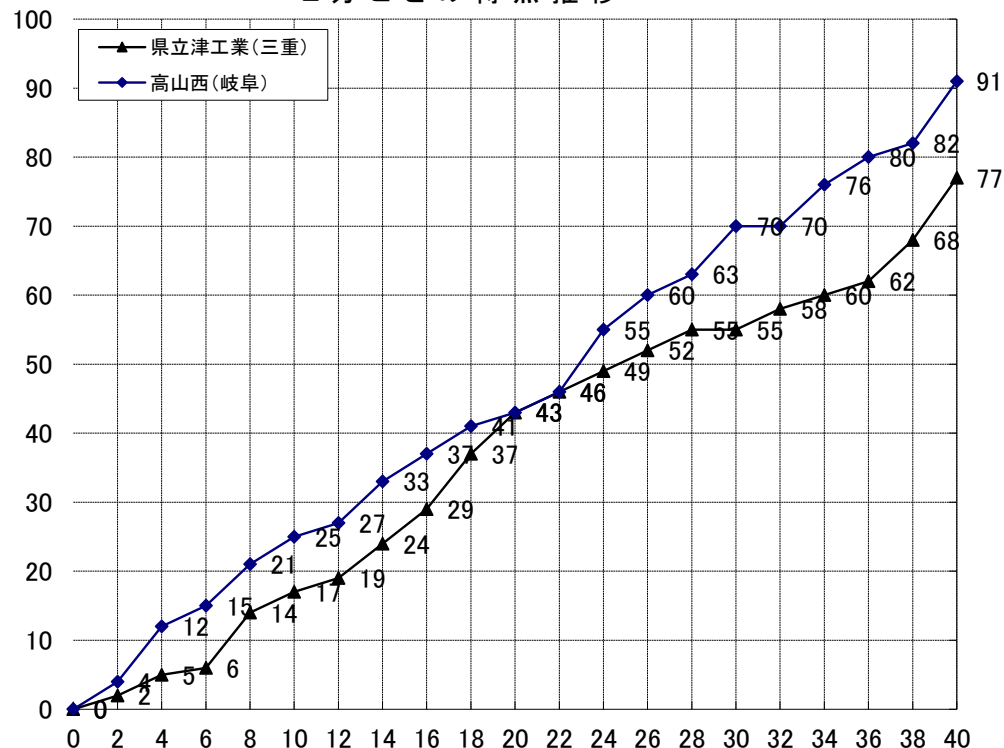
Team A: 県立津工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	小宮 陸	20	9	6	5	4								
5		土田 圭佑	2		2		3								
6		日置 冬弥	4		4		3								
7	*	西脇 力也	15	6	4	5	2								
8		刀根 充規													
9	*	松本 治幸	8		6	2	2								
10		村川 大樹													
11	*	中嶋 純希	25	21	4		3								
12		志保 悠太													
13		大久保翔太													
14		森 祐貴													
15		石田 陸人													
16	*	中出 偉誓	3		2	1	4								
17		辻 大海													
18		篠塚 悠貴													
Team/Coach:															
合計			77	36	28	13	21	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 高山西(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	青木 良樹	24		20	4	4								
5		藤井 俊貴	9	3	6		2								
6		大窪 恍慎	5	3	2		1								
7		今井 大貴	0				3								
8		榎本 晃大	0				2								
9	*	中川 竣介	6		6		1								
10		井端 浩大	0				2								
11		瀧川 京佑	3	3			1								
12		唐谷 鯨太	0												
13		大下 翔生	2			2									
14		野村 淳郎	0												
15		藁谷 高輝	0												
16	*	河野 真秀	8	3	4	1	1								
17	*	不破 尚生	4		4		1								
18	*	Sissoko Dramane	30		28	2	2								
Team/Coach:															
合計			91	12	70	9	20	0	0	0	0	0	0	0	

2分ごとの得点推移



## 【戦評】

1Q 津工業、ハーフコートマンツーマン。高山西2-2-1オールコートプレスから3-2ゾーンでスタート。津工業が#4のジャンプシュートで先制、高山西も#16のシュートで入れ返す。高山西は#18の連続ゴール下や速攻で得点を重ねる。対する津工業もゾーンに苦しみながらも#4と#9のピック&ロールで得点する。17-25と高山西8点リードで終了。

2Q 両チーム前半と変わらずにスタート。一進一退の攻防が続く中、高山西がDFをマンツーマンに変更する。すると津工業は#11の3Pや#4のシュートでたたみかけるように追い上げる。津工業は高山西の#4に対してボックスワンを仕掛け反撃を許さない。終了間際にも速攻が決まり、43-43と同点で前半を終える。

3Q 津工業は#18に対して7のボックスワン、高山西はゾーンに戻してのスタートとなる。高山西は#18のゴール下の得点で引き離しにかかる。津工業も#11の連続3Pで追いつくが、高山西#18を止めることができずさらに#5にも3Pを決められ、55-70と差が2桁になり第3Qを終了する。

4Q 高山西は#18のゴール下で得点を重ねる。対する津工業も果敢に攻め続け必死に食い下がる。終盤、津工業はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ追い上げを図るが、高山西も落ち着いてゲームをコントロール。結局77-91と高山西が勝利した。

主審 今井 淳二

副審 松本 拓真

記入者 中島 英之

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子2回戦

試合日:2017年6月17日(土)  
会場:AGF鈴鹿体育館  
コート:A3  
開始時間:14:20~

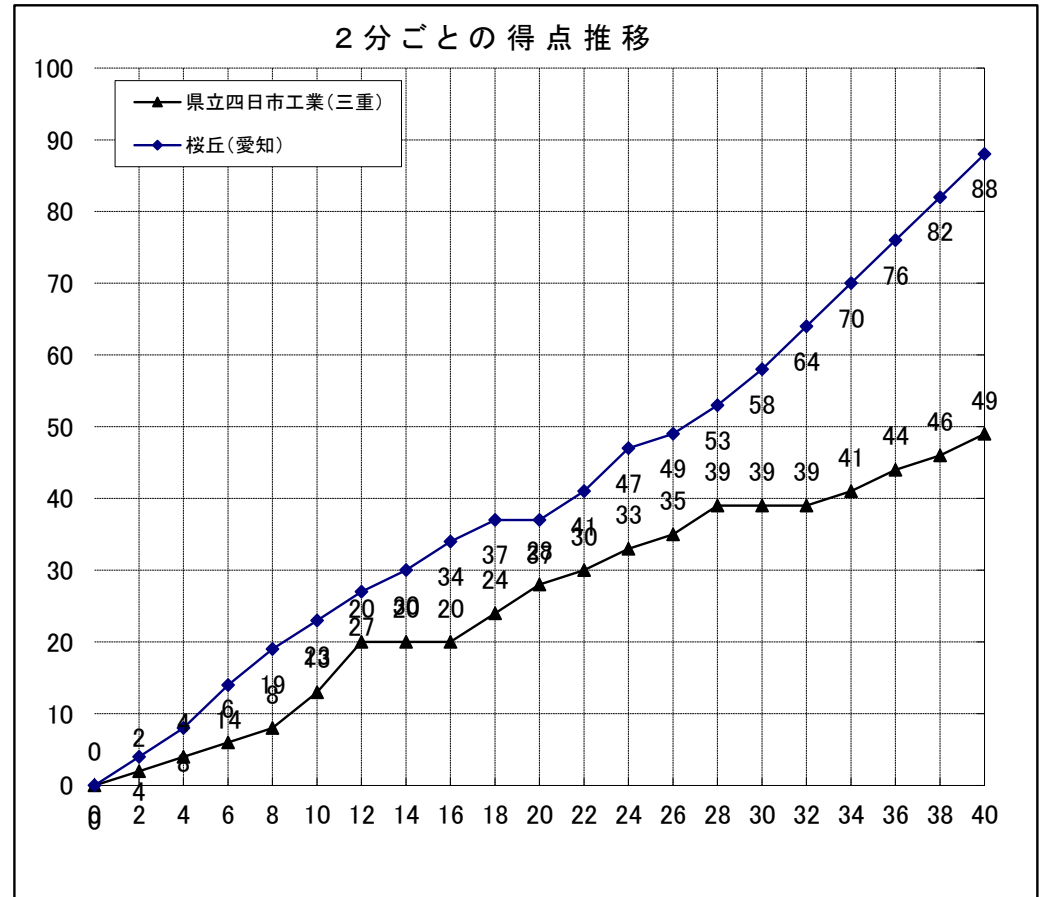
Team A		Team B
県立 四日市工業 (三重)	49	88 桜丘 (愛知)
	13 - 23 15 - 14 11 - 21 10 - 30 OT	

Team A: 県立四日市工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊藤 佑一郎	7	3	4		2								
5		倉木 将太													
6	*	野田 憲吾	8		8										
7		角前 太征													
8		小村 和馬													
9	*	水谷 祐葵	5	3	2		2								
10		前田 凌玖	3	3											
11	*	吉門 広晶	8		8		2								
12		山原 誠也													
13	*	野田 巧真	12	3	6	3									
14		三谷 啓吾	6		2	4	2								
15		水谷 航													
16		小村 将貴													
17		小野 元暉													
18		森 健志郎													
Team/Coach:															
合計			49	12	30	7	8	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿	5		4	1	1								
5		彦坂 海登	6		6		2								
6	*	今田 涼斗	21	3	16	2									
7	*	大井 崇幹	14		14		2								
8	*	中泉 智貴	0				5								
9	*	富永 啓生	27	3	20	4	2								
10	*	ジャイニヤ クル	8		8		4								
11		原田 昇明													
12		ラボラス ベンツロバス													
13		小山 時郎	2		2										
14		宮田 大也													
15		木村 貴郎													
16		中澤 寛哉	0				1								
17		原田 宗輝	5		4	1	1								
18		山本 星矢													
Team/Coach:															
合計			88	6	74	8	18	0	0	0	0	0	0	0	



1Q 四日市工業#4#6#9#11#13マンツーマン、桜丘#6#7#8#9#10ゾーンでスタート。桜丘は#6のジャンプシュート、#10のゴール下で得点していく。四日市工業は#4や#11のゴール下の合わせで得点するが、ミスが多く攻撃が単発になってしまう。残り2分タイムアウトを取り、流れを変えようとするが桜丘#6がシュートを決め23-13と桜丘がリードで1Q終了。

2Q 四日市工業は、#11の速攻や#9の3Pで得点し、点差を詰めようとするが、桜丘もドライブや合わせで対抗する。両チーム我慢の時間帯が続き37-28と桜丘リードで1Q終了。

3Q 四日市工業は#4が3Pを決めるも、桜丘#9に立て続けに決められ返してしまい徐々に点差が開いていく。開始6分、桜丘はタイムアウトを取り、修正を図る。四日市工業もタイムアウトを取り、ディフェンスを2-2-1に変更するも、対応されてしまい58-39と桜丘リードで3Q終了。

4Q 四日市工業は、ディフェンスをマンツーマンに戻すも桜丘は慌てることなく落ち着いて得点を重ね、更にリードを開けていく。終始リードを保った桜丘が88-49で勝利した。

主審

名越 龍男

副審

片山 誠太

記入者

山崎 教平

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子1回戦

試合日:2017年6月17日(土)

会場:AGF鈴鹿体育館

コート:B3

開始時間:14:20~

Team A		Team B	
富田 (岐阜)	71	18 - 22 19 - 36 11 - 14 23 - 10 OT	飛龍 (静岡)
		82	

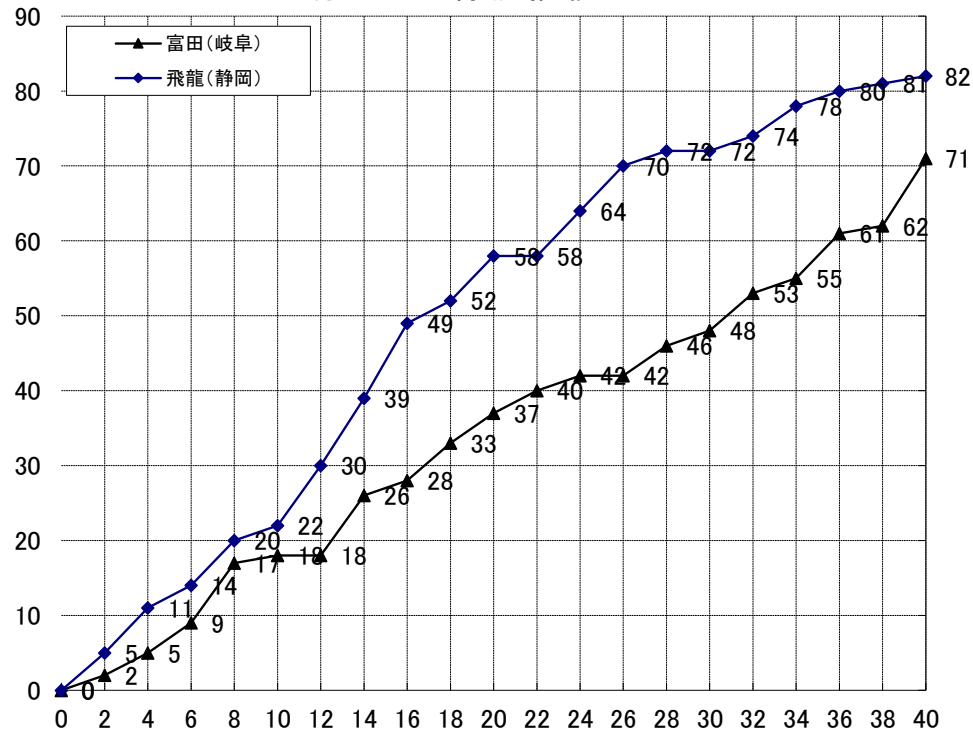
Team A: 富田(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	本田 覚士	12	6	6										
5		小平 飛翔	1			1									
6	*	島津 龍義					2								
7	*	市田 蓮	4		4										
8	*	中山航之介	14	3	8	3	3								
9		坪井 稜斗	18	12	6		4								
10		中澤 聡志													
11		香村 嘉人	6	3	2	1	1								
12		高橋 亮威													
13		高橋 孝成													
14	*	浦野 康平	16		14	2	2								
15		倉橋 飛翔													
16		本田 航琉													
17		服部 終太													
18		森本倫太郎													
Team/Coach:															
合計			71	24	40	7	12	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊東 潤司	23	21	2		3								
5		松下 裕汰	9	6	2	1	2								
6	*	金井 星也	8	6	2		2								
7		牛島 宗揮													
8		西尾 昂也	3	3											
9	*	関屋 心	16	3	12	1									
10		原田 未央	3	3			3								
11		杉本 諒													
12	*	杉山 裕介	11		10	1	2								
13		奥村 大翔	4		4		1								
14		亀山 竜矢					1								
15	*	戸ウ 並豪	4		4		3								
16		長谷川 楓弥	1			1									
17		色山 輝													
18		高須 崇介													
Team/Coach:															
合計			82	42	36	4	17	0	0	0	0	0	0	0	

2分ごとの得点推移



## 【戦評】

1Q 序盤富田は飛龍の固いマンツーマンDFに苦しみ、思うようなオフェンスができない。対する飛龍はボールを奪ってからの素早い速攻や、#9の高いオフェンスリバウンドで得点を重ねていく。6分過ぎ、ようやく富田も速攻から得点が決まりだし追い上げを図る。18-22と飛龍が4点のリードで終わる。

2Q 飛龍は#4・#5が立て続けに3Pを沈め、点差を広げる。富田も速攻や#9の3Pで反撃を試みるも、飛龍の固いディフェンスを崩せず、単調な攻めに終わる。37-58と飛龍のリードが広がって前半を終了する。

3Q 互いに外角のシュートが決まらず、両チームとも得点が伸び悩む。飛龍は#9のドライブを中心とした攻めに切り替え、ゴール近辺のシュートで加点。富田も#14のシュートで追いつがる。

4Q 富田は諦めることなく、オールコート・マンツーマンで必死にボールを奪いに行く。飛龍のミスに誘う場面もあったが、大量リードに守られた飛龍は落ち着いたボール運びを見せゲームコントロールをする。最後はメンバー全員を出す余裕を見せ、71-82と飛龍が明日の準決勝に駒を進めた。

主審 山本 雄大

副審 足立 尚隆

記入者 宮原 利享

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子2回戦

試合日:2017年6月17日(土)  
会場:AGF鈴鹿体育館  
コート:A4  
開始時間:16:00~

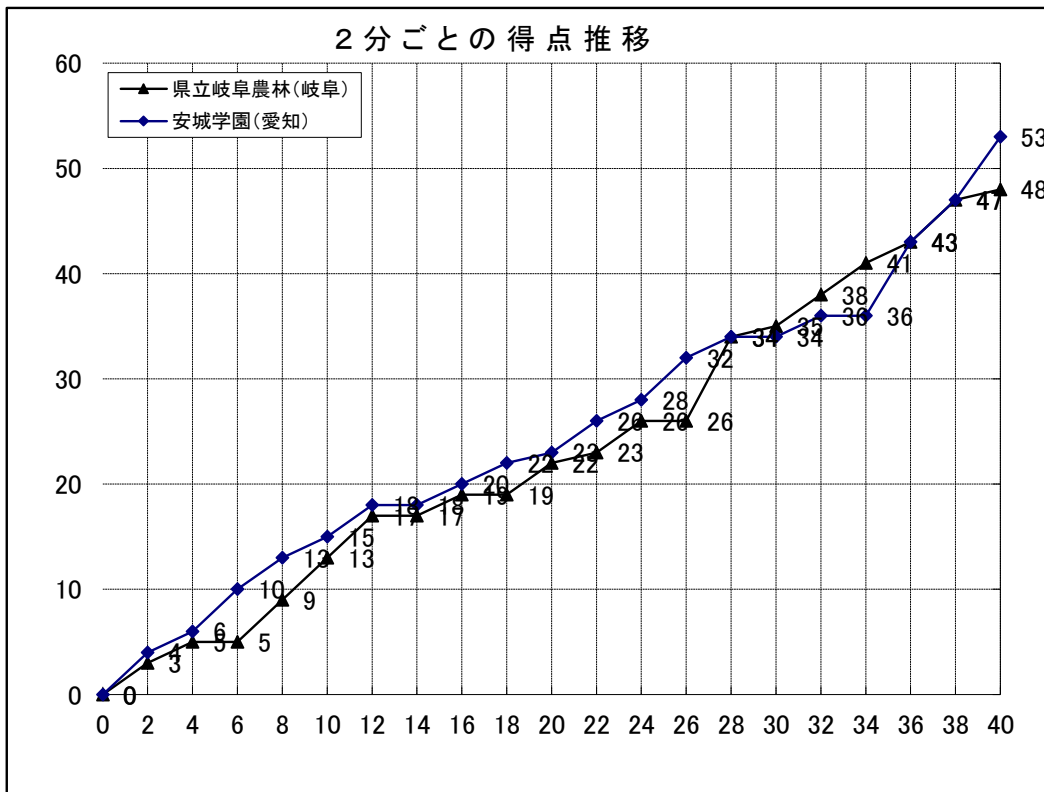
Team A		Team B
県立 岐阜農林 (岐阜)	48	53 安城学園 (愛知)
	13 - 15 9 - 8 13 - 11 13 - 19 OT	

Team A: 県立岐阜農林(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	野原 和憲	0				2								
5		津田 翔英	4		4		1								
6	*	松岡 魁人	12		8	4	4								
7	*	吉村 太希	26	6	14	6	3								
8		中島 貴博	1	0	0	1	1								
9		松山 真也	5	3	2		2								
10		横田 順哉													
11	*	中島 大樹	5		4	1	2								
12		中村 亮太					0								
13		小瀬 晶斗					0								
14		遠藤 優允					0								
15	*	栗田 昂也													
16		大坪 一聖													
17		野尻 陽斗													
18		小林 空誠													
Team/Coach:															
合計			53	9	32	12	15	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人	6		6		4								
5		菅野 正和													
6	*	温井 武	9	6	2	1	4								
7	*	黒田 亘	7		6	1	3								
8	*	石川 翔紀													
9		杉浦 史紘	0				0								
10		牛丸 和樹													
11	*	新本 空良	12		2	10	2								
12	*	藤田 稜													
13		角谷 亜門													
14		大見 駿													
15		楠本 泰聖	14	6	6	2	1								
16		黒川 周人													
17		山中 亮佑	0				0								
18		岩田 幸来													
Team/Coach:															
合計			48	12	22	14	14	0	0	0	0	0	0	0	



## 【戦評】

1Q 岐阜農林は#4#6#7#11#15対する安城学園は#6#7#8#11#12で開始する。両チーム共にハーフコートDefで守る。安城学園の#11がジャンパーを沈め先制するが、岐阜農林もすぐさま#7のバスケットカウントを奪う。両チーム共にリングに嫌われ得点が伸び悩む出だしとなり13-15で安城学園リードで1Q終了。

2Q 岐阜農林は#11のゴール下を中心として得点を重ねていくのに対し、安城学園は2-3のゾーンDefに変え相手に得点を入れさせない。安城学園も#7の対一や#5のタップなどで得点し、お互い譲らない展開となり22-33で安城学園がリードして前半を終了する。

3Q お互い激しいDefをし、得点をさせないが、岐阜農林は#6の3Pなどで得点していく。対する安城学園も#11のドライブや#7のジャンパーなどによって得点していき、35-34岐阜農林リードで3Qが終了する。

4Q 最終QにおいてもDefの激しさは両チーム共に変わらず、一進一退の攻防が続くが、安城学園は2-2-1のオールコートゾーンDefに変え流れを作ろうとするが岐阜農林も#7のジャンパーなどで流れを渡さない。残り41秒安城学園が2点リードでタイムアウト。岐阜農林がフリースローを1本決めるが安城学園の#7が3Pを決め試合終了。お互いDefを頑張り好ゲームとなった。

主審 河合 拓治

副審 林 大貴

記入者 芝野 博考

# 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子2回戦

試合日：2017年6月17日(土)  
会場：AGF鈴鹿体育館  
コート：B4  
開始時間：16:00～

Team A		Team B	
高山西 (岐阜)	68	101	中部大学第 一 (愛知)
	17 - 24		
	22 - 31		
	19 - 22		
	10 - 24		
	OT		

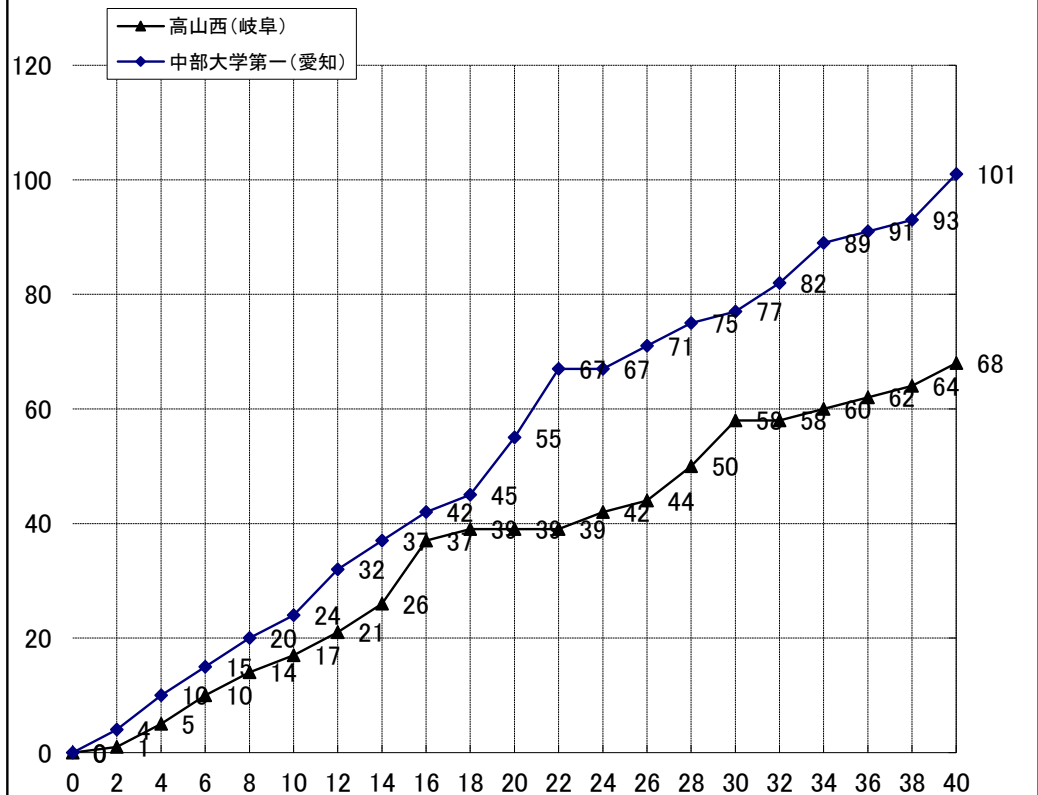
Team A: 高山西(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		青木 良樹	18		14	4	4								
5		藤井 俊貴	10		10		1								
6		大塚 悦慎	0												
7		今井 大貴	2		2		1								
8		榎本 晃天	5	3	2		3								
9		中川 竣介	2			2									
10		井端 浩天	0												
11		瀧川 京佑	0				1								
12		唐谷 鯨太	8	3	4	1	1								
13		天下 翔生	4		4		1								
14		野村 淳郎	0												
15		蓑谷 高輝	4		4		1								
16		河野 真秀	9	3	4	2									
17		不破 尚生	0												
18		Sissoko Dramane	6		6		5								
Team/Coach:															
合計			68	9	50	9	18	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 中部大学第一(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		星野 京介	22	18	4		3								
5		坂本 聖芽	33	15	14	4	1								
6		張本 正登	2		2		2								
7		植木 将太郎	4		4		2								
8		Boubacar N' diaye	5		2	3	2								
9		矢澤 樹	6	3	2	1									
10		中村 拓人	5		4	1	1								
11		青木 遥平	7		6	1									
12		小澤 幸平	2		2		2								
13		井戸 光邦	2		2										
14		仲宗根 弘	2			2									
15		Batoumani Coulibaly	10		10		3								
16		深田 怜音	0												
17		小林 拓光	0												
18		副島 光生	1			1									
Team/Coach:															
合計			101	36	52	13	16	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



【戦評】

1Q高山西は3-2ゾーン、中部大学第一はオールコートマンツォ。出だし中部大学第一④の3P、⑤の個人技で中部大学第一リード、引き離しにかかるが高山西も⑩のゴール下、⑨のドライブでついていく。しかし中部大学第一の激しいDFを前にリズムよくシュートにもっていけない。その間に中部大学第一⑤のジャンプシュートなどで着実に点数を重ね、中部大学第一リードで第1Q終了。  
第2Q中部大学第一⑤の連続3Pで点差を2桁までもっていく。⑩→⑮でアリウープを試みるもリングに嫌われ失敗。対する高山西は④がゴール下で奮闘。バスケットカウントを奪うなどして粘る。周りも④につられDFでハッスルし、ジャンプシュートを決め5点差までつめる。しかし、中部大学第一④⑤の3連続3Pで再び点差をつけ前半終了。  
3Q中部大学第一は出だし⑤の3Pを皮切りに連続12得点。点差を20点に広げる。中部大学第一はベンチメンバーを交えながら戦う。対する高山西は④の個人技で連続得点をあげる。20点を境に一進一退で第3Q終了。  
4Q中部大学第一はスタートメンバーに戻し、さらに点差を広げる。しかし、高山西は④を中心に最後まで果敢にゴールにアタックし続けた。点差は開いたが最後までお互い戦い合い良いゲームとなった。

主審 松野 瑞穂

副審 浅野 慶太郎

記者 中島 英之



平成29年度 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子準決勝

試合日: 2017年6月18日(日)

会場: AGF鈴鹿体育館

コート: A2

開始時間: 11:40~

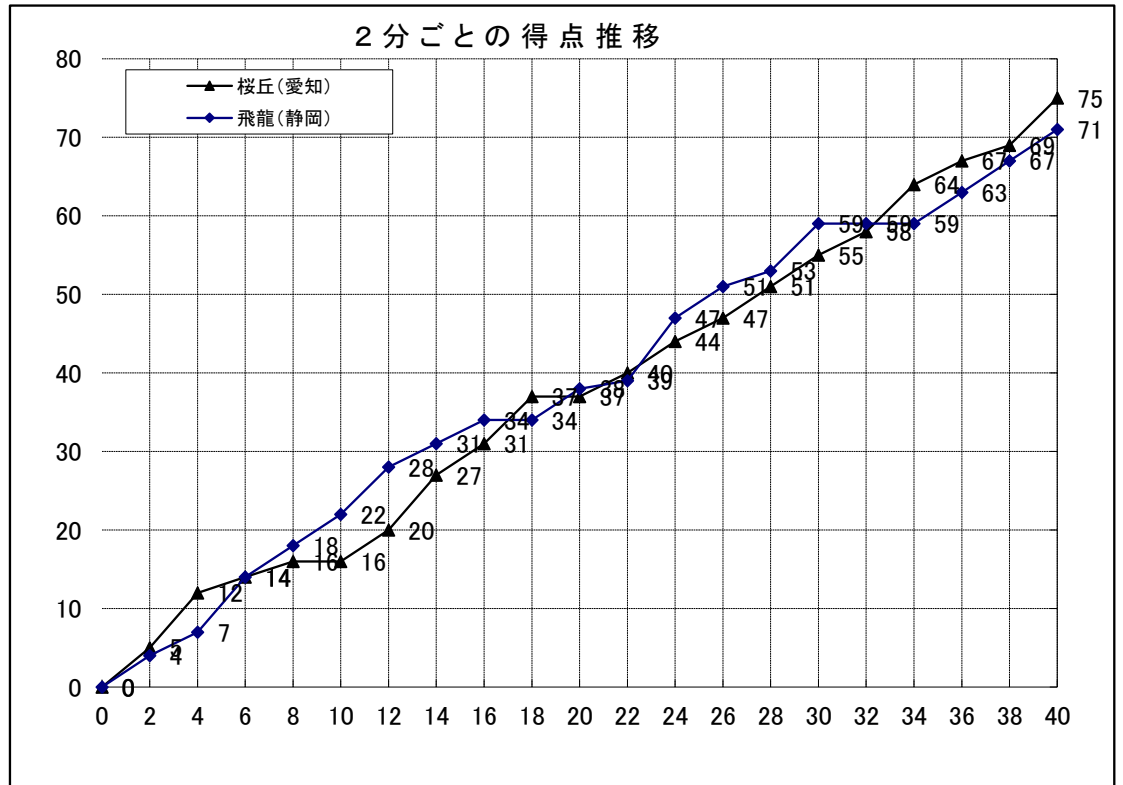
Team A		Team B
桜丘 (愛知)	75	71 飛龍 (静岡)
	16 - 22	
	21 - 16	
	18 - 21	
	20 - 12	
	-	

Team A: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿													
5		彦坂 海登	2		1		3								
6*		今田 涼斗	14	4	1		1								
7*		大井 崇幹	19	2	4	5	1								
8*		中泉 智貴	2		1		2								
9*		富永 啓生	29	2	9	5									
10*		ジャイニャ クル	9		4	1	5								
11		原田 昇明													
12		ラポラス ベンツロパス	0				1								
13		小山 時郎													
14		宮田 大也													
15		木村 貴郎													
16		中澤 寛哉													
17		原田 宗輝													
18		山本 星矢													
Team/Coach:															
合計			75	8	20	11	13	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4*		伊東 潤司	19	5	2		4								
5		松下 裕汰	4		2										
6*		金井 星也	3		1	1	2								
7		牛島 宗揮													
8		西尾 昂也													
9*		関屋 心	23	1	9	2	1								
10		原田 未央													
11		杉本 諒	2			2									
12*		杉山 裕介	16		7	2	4								
13		奥村 大翔	2		1		3								
14		亀山 竜矢													
15*		リュウ ヤハオ	2		1										
16		長谷川 楓弥													
17		色山 輝													
18		高須 崇介													
Team/Coach:															
合計			71	6	23	7	14	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

桜丘#6#7#8#9#10、飛龍#4#6#9#12#15でスタート。  
 1Q 桜丘ゾーンディフェンス、飛龍マンツーマンでスタート。桜丘は#9の速攻や#6の3Pで得点する。一方、飛龍は#4の連続3Pや#9のドライブで得点していく。速い展開から得点を重ねた飛龍が22-16とリードで1Qを終える。  
 2Q 飛龍はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、ディフェンスからプレッシャーをかける。流れに乗るかと思われたが、ミスが続き開始3分飛龍がタイムアウトを取る。そこから一進一退の攻防が続き、38-37と飛龍リードで2Q終了。  
 3Q 桜丘は#7の3Pや#9のシュートで得点する。飛龍は#9の3Pパスカンの4点プレーやドライブで得点し、徐々に点差を広げ始める。流れを変えたい桜丘はタイムアウトを取り、#9を中心に追い上げようとするが、飛龍もそれを許さず59-55飛龍リードで最終クォーターを迎える。  
 4Q 桜丘は#10のゴール下、#9#6の連続3Pで一気に逆転に成功する。飛龍はタイムアウトをとり、立て直しを図り、#9のドライブを中心に攻めていく。しかし、なかなか得点することができない。飛龍が粘るものの桜丘も落ち着いてプレーし、75-71で桜丘が接戦をものにした。

主審 塩谷 禎      第1副審 木下 晋一      第2副審 野々村 日希      記入者 山崎 教平

# 平成29年度 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

## 男子準決勝

試合日: 2017年6月18日(日)  
 会場: AGF鈴鹿体育館  
 コート: 2B  
 開始時間: 11:40~

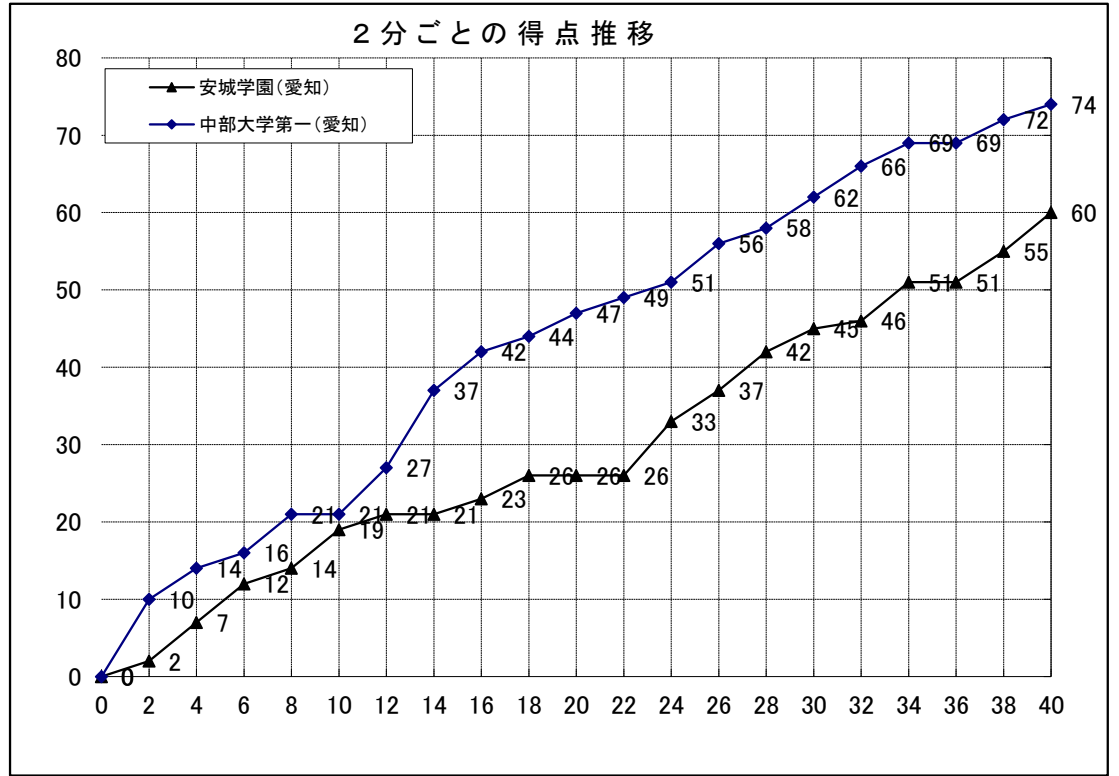
Team A		Team B
安城学園 (愛知)	60	74 中部大学第一 (愛知)
	19 - 21 7 - 26 19 - 15 15 - 12 - -	

### Team A: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人													
5	*	菅野 正和	10	1	2	3	1								
6	*	温井 武	10	2	1	2	1								
7	*	黒田 亘	12		4	4	3								
8	*	石川 翔紀	19	3	3	4	1								
9		杉浦 史紘													
10		牛丸 和樹													
11	*	新本 空良	6		2	2	3								
12		藤田 稜													
13		角谷 亜門													
14		大見 駿	3		1	1									
15		楠本 泰聖													
16		黒川 周人													
17		山中 亮佑													
18		岩田 幸来													
Team/Coach:															
合計			60	6	13	16	9	0	0	0	0	0	0	0	0

### Team B: 中部大学第一(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	星野 京介	22	5	3	1	2								
5	*	坂本 聖芽	9		3	3	2								
6		張本 正登	4		2		2								
7		植木 将太郎	2		1		1								
8	*	Boubacar N'diaye	14		7		2								
9		矢澤 樹	0				3								
10	*	中村 拓人	6		2	2	1								
11		青木 遥平	3	1			2								
12	*	小澤 幸平	4		2										
13		井戸 光邦													
14		仲宗根 弘													
15		Batoumani Coulibaly	7		3	1	4								
16		深田 怜音	3	1			1								
17		小林 拓光													
18		副島 光生													
Team/Coach:															
合計			74	7	23	7	20	0	0	0	0	0	0	0	0



### 【戦評】

安城④⑤⑧⑩⑫中部第一⑤⑥⑦⑧⑪  
 1Q 安城2-3ゾーンディフェンス、中部第一ハーフコートマンツーマンで始まる。中部大第一④の連続3P点差が開きかけ、安城はタイムアウトを取った。その直後、安城は⑧の3Pを決め、積極的にインサイドを突き相手のファウルを誘った。そのフリースローを確実に決めて、点差を縮め19-21で終了。  
 2Q 出だしから中部大第一がインサイド⑧にボールを集め勢いにのる。21-32と再び点差が広がったところで安城がタイムアウト。しかし、中部大第一の勢いは止まらず、着々と点差が広がった。26-47で前半終了。  
 3Q 巻き返しを図る安城は⑦を起点に果敢に攻める。対する中部大第一もインサイド中心、に攻め、オフェンスリバウンドからセカンドシュートを決めるなど、一歩も引かない。中部大第一はメンバーを交代させながら試合の主導権を譲らず、45-62で3Q終了。  
 4Q ここまでの試合で接戦をものにしてきた安城学園。一矢を報いたいところ。5人がそれぞれリングに向かう。ドライブ、シュートなどのシュートチャンスもメイクするが、中部大第一の高いブロック、リバウンドに阻まれ、得点につながられない。最終的に60-74で中部大第一が決勝へ駒を進めた。

主審 中川 行臣      第1副審 大豆村 斉      第2副審 山本 雄大      記入者 廣 知徳

# 平成29年度 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

## 男子決勝

試合日: 2017年6月18日(日)  
会場: AGF鈴鹿体育館  
コート: A4  
開始時間: 15:00~

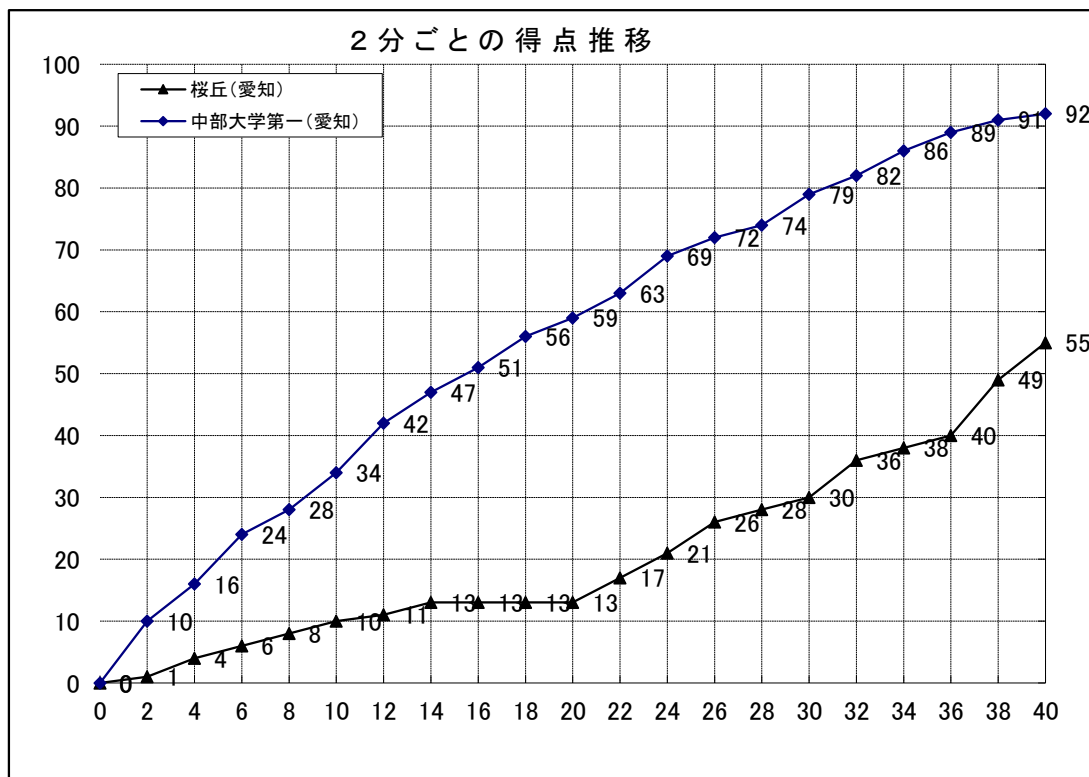
Team A		Team B
桜丘 (愛知)	55	92 中部大学第一 (愛知)
	10 - 34	
	3 - 25	
	17 - 20	
	25 - 13	

### Team A: 桜丘 (愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿	3		1	1	2								
5		彦坂 海登	2		1		1								
6	*	今田 涼斗	10	2	2		1								
7	*	大井 崇幹	8		4		3								
8	*	中泉 智貴	6		3										
9	*	富永 啓生	21	3	3	6									
10	*	ジャイニャ クル	1			1	3								
11		原田 昇明													
12		ラボラス ベンソロパス	4		2		1								
13		小山 時郎													
14		宮田 大也	0				1								
15		木村 貴郎													
16		中澤 寛哉													
17		原田 宗輝													
18		山本 星矢													
Team/Coach: 水谷 幸司															
合計			55	5	16	8	12	0	0	0	0	0	0	0	0

### Team B: 中部大学第一 (愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	星野 京介	21	4	3	3	2								
5	*	坂本 聖芽	29	4	7	3									
6		張本 正登	0				3								
7		植木 将太郎													
8	*	Boubacar N'diaye	6		3		1								
9		矢澤 樹	4		2										
10	*	中村 拓人	13	1	4	2									
11		青木 遙平	3	1											
12	*	小澤 幸平	2		1		2								
13		井戸 光邦													
14		仲宗根 弘	0				2								
15		Batoumani Coulibaly	10		4	2	1								
16		深田 怜音	3	1											
17		小林 拓光	1			1									
18		副島 光生													
Team/Coach:															
合計			92	11	24	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0



### 【戦評】

桜丘#6#7#8#9#10 中部第一#4#5#8#10#12  
 1Q ディフェンスは桜丘1-1-3のハーフコートゾーン、中部第一マンツーマンでスタート。中部第一は#5のジャンパーで先制し、連続得点を重ね勢いづける。桜丘は#5のドライブで得点をしていくが、ディフェンスに苦しみ得点が伸びない。中部第一は#5のドライブを中心に得点を重ね、10-34中部第一がリードして1Q終了。  
 2Q 中部第一の勢いは止まらず、#4の3Pや速攻などを決めていく。桜丘は得点を決めることのできない時間帯が続き、苦しむのに対し中部第一は2本のダンクも決め、勢いは止まらず13-59中部第一がリードし、前半終了となる。  
 3Q ディフェンスはお互い変わらず、後半開始する。桜丘は#6の3Pなどで得点するが、中部第一は#10のドライブや#15のポストプレイなどで得点を重ね、点差が縮まず30-79で中部第一が大きくリードし、最終クォーターへ。  
 4Q 桜丘は#9を中心に得点を決めていくが、中部はメンバー全員出場し、危なげなく試合を展開し、55-92で試合終了し、中部第一が優勝を決めた。

主審	青木 俊博	第1副審	名越 龍男	第2副審	坂井 元直	記入者	芝野 博考
----	-------	------	-------	------	-------	-----	-------

# 平成29年度 第64回 東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子3位決定戦

試合日: 2017年6月18日(日)  
会場: AGF鈴鹿体育館  
コート: 4B  
開始時間: 15:00~

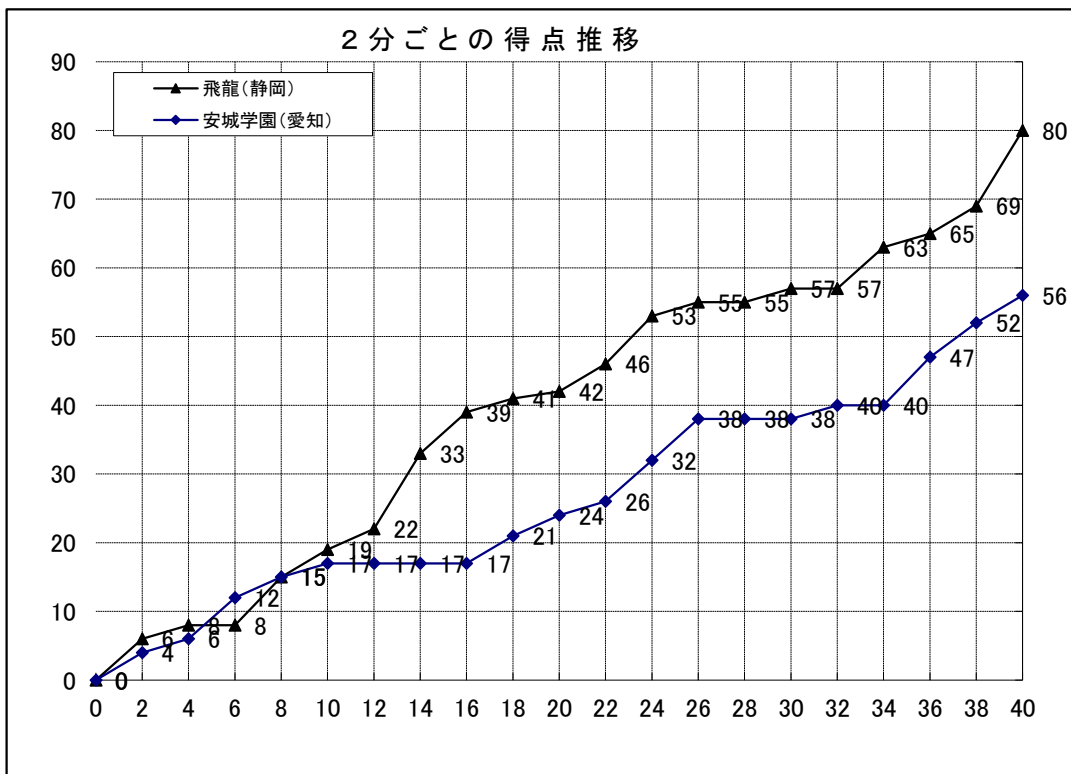
Team A		Team B	
飛龍 (静岡)	80	56	安城学園 (愛知)
	19 - 17		
	23 - 7		
	15 - 14		
	23 - 18		
	-		

Team A: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		伊東 潤司	17	5	1		1								
5		松下 裕汰	21	1	6	6									
6		金井 星也	2		1		3								
7		半島 宗揮													
8		西尾 昂也	3	1											
9		関屋 心	8		3	2	2								
10		原田 未央	5	1	1		1								
11		杉本 諒	4		2		1								
12		杉山 裕介	6		3		3								
13		奥村 大翔	4		2		3								
14		亀山 竜矢	2		1										
15		リュウ ヤハオ	2			2									
16		長谷川 楓弥													
17		色山 輝	5	1	1										
18		高須 崇介	1			1	3								
Team/Coach:															
合計			80	9	21	11	17	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 安城学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		山内 海人	0				3								
5		菅野 正和	12		4	4									
6		温井 武	10		4	2	2								
7		黒田 亘	6		2	2	2								
8		石川 翔紀	1			1									
9		杉浦 史紘	5	1	1										
10		牛丸 和樹													
11		新本 空良	11	1	2	4	2								
12		藤田 稜	2		1										
13		角谷 壺門	3	1			2								
14		大見 駿	4		2		2								
15		楠本 泰聖													
16		黒川 周人	2		1		2								
17		山中 亮佑													
18		岩田 幸来													
Team/Coach:															
合計			56	3	17	13	15	0	0	0	0	0	0	0	0



## 【戦評】

飛龍④⑥⑨⑫⑮ 安城⑤⑥⑦⑧⑪でスタート。飛龍のマンツーマンに対して、安城は2-3のゾーン。  
 1Q 飛龍④の連続スリーでゲームが動く。対する安城は⑤のリバウンドシュートやジャンプシュートでついていく。安城のゾーンDFを前にパス回しでズレを作りシュートが思うように決まらず安城リードで進む。しかし、安城も得点が伸びず一進一退。その中速攻を決めるなど飛龍がわずかに抜けだし1Q終了。  
 2Q 飛龍のアウトサイドが爆発。④の3連続スリーに⑧のスリーも続き4分で14得点。安城はたまたまタイムアウト。しかし勢い止まらず⑫のレイアップ、⑨の個人技などでリードを広げる。飛龍のDFを前に6分間無得点だった安城は⑤のゴール下でようやく得点。しかしその後が続かない。飛龍はベンチメンバーと交代しながらリードを保ち前半終了。  
 3Q 互いにスタートメンバーに戻す。飛龍は⑮→⑤のメンバーチェンジ。互いにDFがしまり一進一退が続く。苦しいシュートながらも着実に点数をあげるが、流れはどちらにもかたむかずガマンのクォーターとなり3Q終了。  
 4Q 安城④⑥⑨⑫⑮に大きくメンバーを変え、DFでプレッシャーをかける。しかし飛龍はベンチメンバーもまじえながら反撃を許さない。安城もあきらめずに戦いを続けたが飛龍が層の厚さをみせつけ試合終了。最後まで互いに戦い続け好ゲームとなった。

主審	相宮 俊郎	第1副審	足立 尚隆	第2副審	林 大貴	記者	中島 英之
----	-------	------	-------	------	------	----	-------